



その1

池田満寿夫

私のライフ・スタイルと**芸術**

2013年7月27日(土)ー12月17日(火)



《七つの大罪「吝嗇」》
1973年刊

MORE
もっと

池田満寿夫のことば

がいにくじん
外国人というのは、いいことに日本の国内事情をなんにも知らない
だれ ゆうめい だれ だれ だれ
んです。誰が有名で誰が無名で、だれが偉いかということをもった
く知りませんから、純粋に絵だけを見て審査をしたわけです。
そしたら僕の版画が一番いいということになって、いきなり僕はいい
賞をもらったんです。

『そこで夢はかなえられる』青春出版社 1994年刊

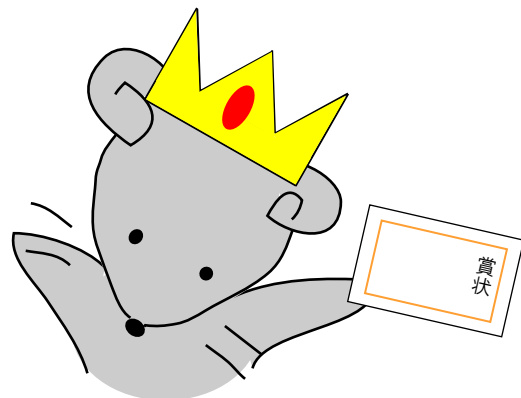
池田さんが出品した「東京国際版画ビエンナーレ
展」でドイツの美術評論家ヴィル・グローマンさん
に認められ、その名が広まることになりました。

池田さんにとって1960年代は
飛躍の年だね



ピックアップ

《女・動物たち》
1960年



「第2回東京国際版画ビエンナーレ展」で
文部大臣賞を受賞した作品のひとつなんだ！

池田満寿夫
私のライフ・スタイルと**芸術**

2013年7月27日(土)～12月17日(火)

その2

MORE
もっと 池田満寿夫のことば



《七つの大罪「吝嗇」》
1973年刊

「朝眼がさめて顔を洗って歯をみがいて学校へ行った。
今日は遠足だというのでみんなはにこにこしていた。……
そしてつかに疲れて帰って来た。」といった調子の作文
を書いている同級生のなかで私の遠足の作文は確かに
ユニークであった。朝起きてを省略し、途中を省略し、
いきなり目的地に着くといったやり方だった。

『私小説 わが青春の文学と性の遍歴』文藝春秋 1980年刊

池田さんは学生時代に本を
たくさんよんだみたい

池田さんは学生のころから作文が得意でした。
文章をつくるのに参考にしたのは志賀直哉の小説なんだって

👍ピックアップ



《橋のある風景》
1950年



高校生のときに全国学生油絵コンクールのアトリエ賞に
選ばれた作品。
長野市にかかる立橋をモチーフにしているよ。



池田満寿夫
私のライフ・スタイルと**芸術**
2013年7月27日(土)–12月17日(火)

MORE
もっと 池田満寿夫のことば



《七つの大罪「吝嗇」》
1973年刊

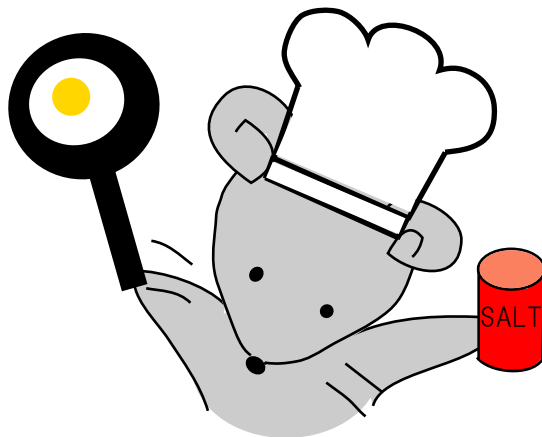
がんらい ざっしょくか みかく きょうれつ しこう
元来が雑食家の私だったから、味覚に対する強烈な嗜好
を持っておらず、食いたくなければ自分で調理する便利さ
ももっていて、その点は大いにツブシがきいた。
『私自身のアメリカ』朝日新聞社 1973年刊

アメリカで生活していた時も、日本の料理に使う
材料が買えるから、池田さんは自分で日本風
に味付けした料理を作っていたんだって。

ピックアップ



《食後A》
1970年



女の子のまわりにはなんの食べ物があるかな？
さがしてみて！

池田満寿夫

私のライフ・スタイルと**芸術**

2013年7月27日(土)ー12月17日(火)

MORE
もっと

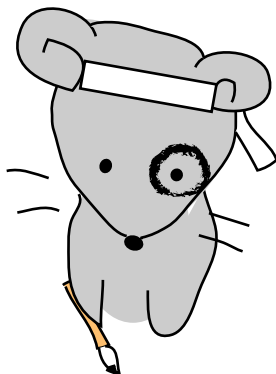
池田満寿夫のことば



《七つの大罪「吝嗇」》
1973年刊

僕なんかも、「書は人格だ」って小学生のころから教
わるわけですよ。すると逆に、「俺はこんなにいい人
格なのに、なんでこんなに字が下手なんだろう」って
いう変なコンプレックスに陥るわけです。人格だって
困るわけよ、字で判断されたくないって(笑)。

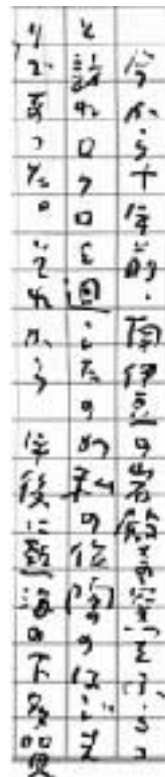
池田満寿夫/金田石城著『芸術家になる法』現代書林 1997年刊



池田さんの書いた原稿。
かわいらしい文字で、とくちょう
がありますね



ピックアップ



《一気呵成》
1990年

「一気呵成」とは一息に文章をつくりあげたり
物事を一気になすとげることです

池田満寿夫
私のライフ・スタイルと**芸術**
2013年7月27日(土)–12月17日(火)

MORE
もっと 池田満寿夫のことば



《七つの大罪「吝嗇」》
1973年刊

私の前の女房にようぼうは私からタバコを取りあげたり、隠かくしたりして禁煙させようとしたが私は頑固がんことして自分の趣味しゅみを守った。
『同心円の風景』毎日新聞社 1987年刊



かなりのヘビースモーカーだった池田さん。
残のこっている写真しゃしんや映像えいぞうでも、たばこを吸すっている姿すがたが写うつっていますね。



👆 ピックアップ

《たばこを喫すう女》
1980年

いがい 意外にも池田さんの作品の中でたばこを吸すっている描写びょうしゃは少ないのです。